議論をしない安倍政権

韓国と日本の摩擦が止まりそうもない。

文大統領の「話し合い」の提案に、安倍氏は「文政権が徴用工訴訟の解決に前向きな提案をしない限り応じない」態度。「韓国は国際法違反」と繰り返すだけ。そう云っても分からない相手だと思うなら、「何故、国際法違反」なのか、あの手この手で説明し分かって貰おうとするものだ。

韓国最高裁は請求権協定を否定している訳では無い。「国と国の問題は請求権協定で片付いても、企業と個人の間の問題は別」と云う立場。

安倍氏は「別ではない」理由を説明すべきではないか。

日経は7月27日「反日集会」と報道しているが、その写真に写ったデモ隊が掲げているのは「Noあべ」。日本のマスコミも韓国の情報を正確に伝えていないような気がする。

아베は文字上のあべ

日経HPより

自民党の論争能力は？

プーチン氏との会談でも日本側の主張をぶつけた形跡が見えない。竹島、尖閣諸島問題でも「日本固有の領土」と云うだけで、相手国の主張を打ち破る議論を展開していない。トランプには言いなり。

極めつけは上野政務官の斡旋利得処罰法違反。「誤解を与える」と辞任。どういう問題かきちっと話し「こういう人物を重用するのが安倍政権ですよ」と説明すれば良いのに。

皆さんはどう思われますか？

樹齢二百年以上のねずこ

ねずこの森にて

長野県北安曇郡白馬村大字北城

二〇一九年七月

長野県白馬村の岩岳の山頂には夏もゴンドラで楽に行ける。西側には白馬岳が正面に、東側には雨飾山などが見える。木のテラスがある「白馬マウンテンハーバー」には車椅子の方も来ていた。

山頂近くの森にハイキングコース「白馬岩岳ねずこの森」が設けられていた。「ホオノキ」「ブナ」「コシアブラ」の見分け方の展示が楽しい。朴(ほう)の木は葉が大きく40cmにもなる。ブナの葉の縁は波形。漉油(こしあぶら)は小さな葉が五枚ずつだそうだ。

森の中に「ねずこの巨木」があった。「ねずこ」(鼠子)とは「クロベ」とも呼ばれる檜(ひのき)の仲間。水に強い。木目が美しいので天井に使われたりするという。この木の樹齢は二百年以上。